

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	共同生活援助事業所支援事業			事業番号	011-169
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画、第2期堺市障害児福祉計画			
3	事業開始年度	平成 27 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市重度障害者対応型共同生活援助事業運営補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	重度障害者を受け入れている堺市内に所在する定員8人以上の共同生活援助事業所 (グループホーム)	対象数	23	単位 か所
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	重度障害者の地域における自立した生活を支援するため、重度障害者を受け入れるグループホームにおいて、手厚い支援体制ができるよう生活支援員の増員及び看護職員の配置に要する経費を補助することにより、グループホームにおける安全なサービス提供を確保することを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>重度障害者を受け入れるグループホームを行う事業所において、生活支援員の増員及び看護職員の配置に要する経費を補助する。</p> <p>【重度障害者（補助対象者）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度重複障害のある方 ・ 強度行動障害のある方 ・ 医療的ケア（健康維持に不可欠で日常生活に必要とされる医療行為）を必要とする方 <p>【補助基準額（1事業所当たり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援員 年間200万円／1日4時間以上、年間310万円／1日6時間以上 ・ 看護職員 年間 53万円／月24時間以上、年間110万円／月48時間以上 ・ 生活支援員（看護資格を有する者） 年間260万円／1日4時間以上、年間390万円／1日6時間以上 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人 堺あけぼの福祉会、社会福祉法人 コスモス、一般社団法人輝39			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度 令和7年度	
	補助金交付事業所における重度障害者入居者数 (3月末時点)	人	目標値	—	—	—	—
			実績値	12	15		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由	グループホームにおいて重度障害者の受け入れの増加を目的とする事業のため。						
目標値の設定根拠・算出方法	補助対象事業所における重度障害者数 (対象者の利用が一定ではないため、目標値は設定しない。)						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	補助金交付事業所	か所	目標値	—	—	5	
			実績値	3	4		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由	グループホームにおいて重度障害者の受け入れの増加を目的とする事業のため。						
目標値の設定根拠・算出方法	グループホームにおける重度障害者の受け入れが進むよう、前年度実績値を上回る数値とする。(1つの事業所で、生活支援員と看護職員いずれも実施している場合は2として算定する。)						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	共同生活援助事業所支援事業	事業番号	011-169
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	9,738	6,200	12,430	8,449	8,822
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	9,738	6,200	12,430	8,449	8,822
14 人件費 (b)	1,620	1,640	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	11,358	7,840	14,070	10,089	10,462

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R3	R4		
16 事業費内訳	堺市重度障害者対応型共同生活援助事業運営補助金	R3 決算	8,449	8,449		R3	決算	
		R4 予算	8,800	8,800		R4	予算	
	グループホーム事業者研修会講師謝礼金 (R3年度は別事業で掲載)	R3 決算	0	0		R3	決算	
		R4 予算	22	22		R4	予算	
		R3 決算				R3	決算	
		R4 予算				R4	予算	
		R3 決算				R3	決算	
		R4 予算				R4	予算	
	R3 決算				R3	決算		
	R4 予算				R4	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 重度障害者入居者数 (3月末時点)	人	12	15
② 上記①にかかる年間経費	千円	7,840	10,849
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	653,333	723,267
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

令和3年度は、新たに医療的ケアを必要とする障害者を対象とする支援を拡充した。

- 18 重度障害者に対しては、個々の障害特性などを踏まえた手厚い支援が必要となることから、生活支援員の増員及び看護職員の配置に要する費用を補助しており、単位当たり経費は妥当と考えている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19 重度障害者を受け入れるグループホームにおいて、手厚い支援ができるよう、生活支援員の増員及び看護職員の配置に要する経費を補助しているものであり、地域における重度障害者の暮らしの場の確保に寄与している。